

9 イタリア側 ツール・ド・モンブラン 10日間

欧州最高峰モンブランとグランドジョラスを望む



フェレの谷を眺める

- ◇イタリア・フランス・スイスの国境の峠(コル)をめぐる山あるき モンブランを中心にイタリア側のコースを踏破
- ◇雄大なモンブランと氷河を眺めるヴェニの谷 グランドジョラスを望みグランコルフェレを目指すフェレの谷
- ◇世界中のトレkkerが集まるイタリア山岳会の4つのヒュッテに宿泊 山小屋のグルメを堪能

旅行期間	旅行代金
7/1 (水)	¥422,000
7/21 (火)	¥442,000

※燃油付加運賃
28,400円、現地空港
税6,130円、空港施設
使用料・保安料2,660
円(成田)、3,100円
(関空)国際観光旅客
税1,000円 が必要で
す。(変動あり)

- 定員／12名定員(最低実施人員6名)
- 締め切り／各出発日の1か月前
- 出発空港／成田空港・関西空港
- 1人部屋追加料金／¥35,000
- 健脚度／   1日5時間以下のハイキング。標高差500mの登り900mの下り程度
- 添乗員／初日のジュネーブ空港から帰国日のジュネーブ空港まで同行



メゾン・ヴィエイユ小屋(1956m)

ツール・ド・モンブラン(TMB)

フランス・イタリア・スイスの国境にそびえるモンブラン山群。アルプスの最高峰モンブラン(4810m)やグランド・ジョラス(4208m)モン・ドラン(3823m)ら山塊を1周する山歩きコースが"ツール・ド・モンブラン"です。3か国にまたがり、全行程をあるけば170km。8つの谷をめぐり標高1500m~2500mの峠を越えて、山の上の山岳会の山小屋や谷の宿、町のホテルに泊りながらあるきます。岩場や氷河はなく、残雪がある時期を除けば技術的に困難な箇所はないので、子どもから高齢者までまじえた家族のパーティーも多く見かけられるでしょう。

富士国際旅行社では、ツール・ド・モンブランから"イタリア側"をピックアップして、ヴェニの谷とフェレの谷をめぐる10日間のコースをつくりました。モンブラン山群を目の前にあるき、イタリアならではの山小屋のグルメを堪能します。イタリアとフランスの国境"セイニユのコル"、イタリアとスイスの国境"グラン・コル・フェレ"と見どころ充分で世界中のハイカーとの交流や、山小屋ならではの朝夕の山々の表情と魅力いっぱいの山旅です



ボナティ小屋(2025m)

旅程表					
日次	都市	時刻	摘要	食事	
7月1日(水) 7月21日(火)	成田・関空発 ヨーロッパ1都市着 ヨーロッパ1都市発 ジュネーブ着 アントレープ	午前 夕刻 夜	空路  ヨーロッパ1都市を経由してジュネーブへ【時差：7時間／所要時間：約15時間】 専用車でモンブラン・トンネルを抜け、イタリアへ(3時間) モンブランの南麓アントレープ、ホテル着	機 機 ×	
7月2日(木) 7月22日(水)	アントレープ		終日、自由見学 *希望者はエルブロンネ展望台(3375m)、エギーユ・ド・ミディ展望台(3842m)までご案内します(別途費用) *午後はクールマユールで明日の昼食など調達し、トレッキングに備えましょう	B ×	D アントレープ泊
7月3日(金) 7月23日(木)	アントレープ エリザベッタ小屋	午前 午後	路線バスを乗り継いで ヴェニの谷 へ ヴェニの谷奥のバス停ラ・ヴィサイユ(1659m)へ トレッキング 【↑521m／4時間30分】 エリザベッタ小屋(2200m)へのトレッキング ミアージュ氷河湖、コンバル湖を通り橋を渡ります エリザベッタ小屋に到着 朝は裏のグラシエ針峰が赤く輝きます	B ×	D エリザベッタ小屋泊
7月4日(土) 7月24日(金)	エリザベッタ小屋 ラ・ヴィサイユ クールマユール メゾン・ヴィエイユ小屋	午前 午後	トレッキング イタリア・フランスの国境 セイニユのコル (2514m)に登る【↑320m／2時間】 モンブラン(4810m)とミアージュ氷河を眺めて下る 【↓840m／2時間30分】 ラ・ヴィサイユから路線バスでクールマユールへ ケーブルカーとリフトでヴェニの谷南上、 シュルクイのコル へ(ケーブルカーおよびリフトが休止の場合はタクシーを利用します) モンブラン南面を望む山小屋、メゾン・ヴィエイユに到着 モンブランとノアル針峰、トレラテート針峰の絶景	B サ D	メゾン・ヴィエイユ小屋
7月5日(日) 7月25日(土)	エリザベッタ小屋 クールマユール アントレープ	午前 午後	午前、自由見学 *ご希望の方は、山上湖またはM t.Chetif(2343m)へご案内いたします ケーブルカーとリフトでクールマユールに戻り、バスでアントレープへ	B ×	D アントレープ泊
7月6日(月) 7月26日(日)	アントレープ アルプヌーバ エレナ小屋	午前 午後	路線バスで フェレの谷 、谷奥のバス停アルプヌーバへ トレッキング 【↑297m／1時間30分】アルプヌーバからエレナ小屋(2062m)へ登る 三方を山に囲まれた原っぱの道があるき、キンボウゲ、リンドウ、マンテマなどを散策 トレッキング 【↑↓469m／登り1時間45分、下り1時間15分】 エレナ小屋からイタリア・スイス国境の峠 グラン・コル・フェレ (2531m)への往復 後ろを振り返るとこれまで進んできたヴェニの谷とフェレの谷がー気に見通せます モンブラン山群の東端 グラン・コンパン(4314m)とモンテローザ(4634m)	B ×	D エレナ小屋泊
7月7日(火) 7月27日(月)	エレナ小屋 アルプヌーバ ヴィヴィオ・ボナティ ボナティ小屋	午前 午後	アルプヌーバへ下り、下道をバスでヴィヴィオボナティへ【↑323m／45分】ボナティ小屋に登る グランドジョラス(4208m)が眼前にたたずむ小屋、ボナティに到着	B ×	D ボナティ小屋泊
7月8日(水) 7月28日(火)	ボナティ小屋 ブランパンシュ アントレープ シャモニ	午前 午後	トレッキング 【↓435m／2時間】ボナティ小屋から下道のブランパンシュへ モンブラン(4810m)に向かって尾根道にあるく展望の良いコースです バスでアントレープに戻り、ホテルから荷物をピックアップ 専用車でフランス・シャモニへ シャモニ着	B ×	D シャモニ泊
7月9日(木) 7月29日(水)	シャモニ発 ジュネーブ発 ヨーロッパ1都市着 ヨーロッパ1都市発	朝 午前	専用車でジュネーブ空港へ(1時間) 空路  ヨーロッパ1都市を経由して帰国の途へ【時差：7時間／所要時間：約14時間30分】	サ 機	機中泊
7月10日(金) 7月30日(木)	成田・関空着	朝	お疲れ様でした！ 【旅程表のマーク】：B＝朝食、L＝昼食、D＝夕食、機＝機内食、サ＝サンドイッチなどのお弁当 【利用予定航空会社】：スイス・インターナショナル・エアラインズ、KLMオランダ航空、ボーランド航空、フィンランド航空、スカンジナビア航空 他 【利用予定ホテル】：＜アントレープ＞ピエール ダングル ＜シャモニ＞アルピナ または同等ホテル ※3、4、6、7日目の山小屋は6～8人部屋／共同シャワー	機	

ヴェニの谷

ヴェニの谷の主役はやはりモンブラン(4810m)。1990年頃まではコンバル湖(実際は温源と池)の東端まで路線バスが来ていたが、氷河の崩落による洪水で車道が埋まったことから、手前のラ・ヴィサイユからがツール・ド・モンブランの第一歩となる。谷を渡り、モンブランやグランド・ジョラスなど名峰を南側からの眺めを楽しむのが醍醐味。メゾン・ヴィサイユ小屋は朝日に輝くモンブランを見る高位置にあるが、手前の黒針峰が大きくせり出すので、少し西に上った方がベスト



セイニユのコル(2514m)

フェレの谷



モンブラン(4810m)

フェレの谷には大きな集落はなく、人も車も極端に少ないのこかで静かなところ。山や氷河も近いが、谷が広く、圧迫感がない。5月から川沿いの牧草地が花のカーペットとなる。山裾のカラマツ林も新緑から黄緑まで彩りを楽しませる。グラン・コル・フェレへの登りはTMBのメインコースで1番きつく長い、振り返って雄大な眺めを見て息をととのえ、ゆっくり歩をすめるとよい。圧巻はボナティ小屋の眼前にそびえるグランド・ジョラス(4208m)。